



JFPAは5Aの実現を目指します!

- ① Adolescent 思春期保健の推進
- ② Abortion 人工妊娠中絶の防止
- ③ Access どこでも誰もがサービスを受けられる
- ④ Advocacy 啓発・提言活動
- ⑤ AIDS STD及びHIV/エイズの予防

家族と健康

健康教育情報紙

一般社団法人 日本家族計画協会
 リプロ・ヘルス推進事業本部
 健康教育推進本部
 協力：公益財団法人予防医学事業中央会
 〒162-0843 東京都新宿区市谷田町1-10 保健会館新館
 電話03(3269)4727 FAX03(3267)2658 http://www.jfpa.or.jp
 発行人：近 泰男 編集人：櫻田 忠宏 henshu@jfpa.or.jp
 毎月1回1日発行 年購読料¥3150 1部¥315千円

わが国の性感染症の実態と予防対策に新知見

本会、厚労省研究班の分担研究を実施

□ 口腔性交時の「コンドーム」使用5.3%

本年1月19日に「性感染症に関する特定感染症予防指針」の一部が改訂され、ここに「性感染症を早期に発見し、治療に結び付けるための試行的研究、性感染症予防策のまん延防止効果に関する研究、感染リスクや感染の防止に関する意識・行動等を含む社会面と医学面における性の行動様式等に関する研究」の重要性が述べられている。

本会家族計画研究会が中心となって取り組んだ「性感染症罹患者の意識ならびに性行動様式に関する研究」は、厚生労働科学研究費補助金・新型インフルエンザ等新興・再興感染症事業「性感染症に関する予防、治療の体系化に関する研究」(主任研究者：小野寺昭一東京慈恵会医科大学客員教授)の平成23年度分担研究(研究分担者：北村邦夫本会家族計画研究会)としてスタートした。

その結果、15歳から69歳の一般人口集団では、「異性とのセックス経験あり」は91.3%(男性91.4%、女性91.2%)、「決まった交際相手以外に、セックスする異性がいる」は18.0%(男性21.2%、女性13.6%)に、「これまでに同性とのセックス経験あり」は3.3%(男性4.0%、女性2.5%)に、「この1年間で、口腔性交の経験あり」では「している(毎回十時々十ほどとどしていない)」が61.4%(男性64.6%、女性57.0%)、「口腔性交の際、性感染症を予防するため」にコンドームを必ず使

今月のページ

- 看護職離職防止対策の試み
—就職内定者を対象としたエンパワメント研修—
女性のための栄養指導③
若い女性の食生活改善指導プログラム
本会家族計画研究会・クリニク
2011年度事業報告④
職域保健の現場から⑭
セルフ・ケアへの支援
海外情報クリップ
避妊教育ネットワーククリレイトーク⑳



(8面) (2面)

トピック

性犯罪・性暴力被害者支援センター

内閣府、開設・運営の手引公表

内閣府は5月21日、「性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センター」開設・運営の手引を公表した。

これは昨年3月閣議決定された第2次犯罪被害者等基本計画に基づくもの。将来的には被害者が二次被害を受けない、必要な支援を

1か所で受けられるセンターが、各都道府県に1か所以上設置されるのが望ましいとした。

センターに求められる産婦人科医療の機能としては、外傷の診断、治療、妊娠性感染症の検査、緊急避妊薬、性感染症治療薬等の処方、ほか、状況によっては

継続的な経過観察・治療、中絶手術も必要となる。被害者が希望する場合には適切な証拠採取を行うが、警察への通報を被害者が希望しない場合には、緊急避妊等に関する公費負担等について説明し、警察への届出を勧めるものとした。

健やか親子21全国大会

家族計画研究会

今年度は群馬で開催

平成24年度の健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)は、群馬県前橋市で開催される。母子保健ならびに家族計画関係者が参加し、母子保健の諸問題を研究討議し、「健やか親子21」の推進を図る。

◆健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)
 (主催)厚生労働省、群馬県、前橋市、本会、社会福祉法人恩賜財団母子愛育会、社団法人母子保健推進会議
 (開催日)10月31日(水)～11月2日(金)
 (会場)ベイシア文化ホ

◆家族計画研究会
 (主催)本会
 (開催日時)11月2日(金)13時30分～15時30分
 (会場)ベイシア文化ホール(群馬県前橋市)
 (参加費)無料(要事前申込)
 ※詳細は決まり次第、本会HP等でご案内します。

「指導者のための避妊」

「指導者のための避妊」と性感染症予防セミナーと銘打ったセミナーを、昨年度は「SRH(セクシユアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)」と表も新たに開催した。主催者として、馴染みの薄いSRHという言葉のために出席者が激減するのではないかと一抹の不安があったが、主催者の心配をよそに、開催した8か所での出席者総数は1362人と、開催した8か所での下りした。特に、昨年3月11日に起こったわが国未曾有の大震災にも負けることなく、仙台会場に足を運びたいという皆様に紙面を借りて改めて感謝したい。

▼SRHにはどのようなテーマがあるのか。国際家族計画連盟(IJPPF)が制作し、ジョイセフが日本語版を刊行した『新版IJPPFセクシユアル・リプロダクティブ・ヘルス用語集』には約680語が収録されて

「指導者のための避妊」

いる。私たち日本人にとっては聞き慣れない用語もあるが、SRHが取り組むべきテーマが如何に広いかを私たちに教えてくれる。

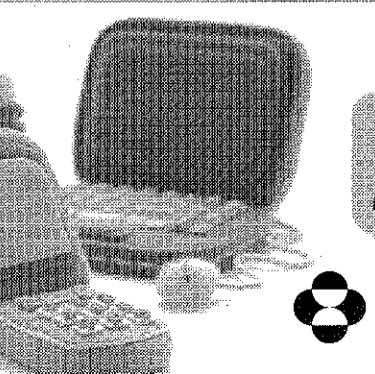
▼SRHセミナーでは筆者を含め8人の婦人科医が、低用量経口避妊薬、緊急避妊法、子宮内服薬、月経困難症、性感染症、HPVワクチン、子宮頸がん、デートDV、児童虐待などをキーワードに熱弁をふるった。講師に恥えるように、参加者が熱心にメモをとる姿はいつものセミナーの風景であった。

▼平成11年度(1999年度)から、「避妊」と「性感染症予防」をテーマにしたこのセミナーの開催回数が本年7月に100回を迎える。このように長年にわたって本セ

自分のリズムで生きる

Living by your own rhythm. このサイトは、低用量経口避妊薬(OC)についての正しい知識を身につけていただくことを目的としています。

OCケータイ情報
 会員登録(無料)することでOCの服用時間をお知らせするメールが受信できます!
<http://oc-cycle.jp>



低用量経口避妊薬(OC)

ウェブサイト
 OCのことはもちろん初めての受診や女性の健康など、関連情報も掲載しています!
<http://www.oc-rizum.jp>

MSD株式会社
 製造販売元【資料請求先】
 〒102-8667 東京都千代田区九段北1-13-12 北の丸スクエア
<http://www.msdd.co.jp/>

表1 研修プログラム

項目	内容
9:15	受付 コードネームの作成(例えば自分が尊敬する人など、研修中の呼び名を決める)
10:00	開講式 研修目的・グランドルールの説明 *オープニングエクササイズ —ミッション:この人を探せ— 緊張をとるためのウォーミングアップ
10:15	エクササイズ① Let's walk and touch!! 自由に歩きながらアイキャッチ・握手などで他者との関係を意識する
10:30	エクササイズ② ほめほめシャワー 互いの素敵なところを伝えあい、伝えられた素敵な自分をうけてめて自尊感情を高めていく。 *Let's walk and touch!! グループ作り
11:10	エクササイズ③ 私たちここが似ているね グループメンバーの共通事項をさがしながら、仲間意識を高めて、互いに認め合いながら自己理解・他者理解をする。
11:30	エクササイズ④ 4つの窓 自分の大切(好き)なもの、ひと、場所、思い出をじっくりさがし、大切に思う理由を考えながら自己認知していく。
13:00	昼食
13:15	*アフタヌーンエクササイズ エクササイズ⑤ 私のライフライン・あなたのライフライン—ライフラインってあなた自身のこと、自分で選んで取っていくもの— 過去を振り返り、今まで考えることのないことに向き合い、今ここにいる自分と未来自分を設計がつながる。「看護職を目指している自分」に気づき、自分に対する自覚が深まり自己概念やアイデンティティが明確になる。
14:50	エクササイズ⑥ 私の夢 自分の夢を絵に描くことでほんやりしていた夢に現実感を持たせ、実現のための一歩を踏み出す。
16:00	まとめ

看護職離職防止対策の試み

—就職内定者を対象としたエンパワメント研修—

自治医科大学附属さいたま医療センター看護部 渡邊 紀子



研修の様子

「離職防止対策の必要性」
「2010年病院看護実態調査」(日本看護協会)では、常勤看護職員に限り、就職内定者を対象としたエンパワメント研修を実施している。若者の離職率の高さは看護職に限らず、文獻によると「自己実現の道としてのキャリア選別の失敗が、実務経験がないうち、自己理解も未熟な学生の選択能力を越えたものであり、就職前の選択は仮のものではない。就職後、試行錯誤の過程で自己理解を積み重ねていく」とある。

【センターの概要】
当センターは1989年に開所し、2010年には地域周産期母子医療センターがオープン、現在は精神疾患を除く全ての疾患に対応する地域の基幹病院として貢献している。病床数582床(許可病床数608床)、看護職員数660人、平均年齢29・1歳、平均在職年数5・3年、離職率10・0%、新卒者離職率3・2%。

【研修の実際と効果】
1. 健康教育プログラムの進め方
研修の目的を、①一緒に働く仲間とともに入職する仲間として、人生の自己実現として看護職を選んだ自分を再発見し、そういう自分を愛する気持ちを大切にすること、自分らしく輝いていくために、当センターに入職する意欲を確認するとして、表1に示すような構成的グループ・エンカウターを用いることである。エクササイズを実施するだけでなく、重要なのは感じたことや気づいたことを仲間と共有するシェアリングであり、グループ構成とファシリテーターの積極的傾聴によって感情に向き合い自己理解・自己開示・他者理解ができ、自分の夢や看護職としてどうありたいかなど自分自身の再発見につながった。同じ目標をもった仲間と知り合い、互いの夢や思いが共有でき

いた健康教育プログラムを実施した。
2. 内定者の反応
初対面の人も多く不安と緊張のなかで始まった研修であったが、エクササイズをおこなって本音と心の交流を繰り返して自己理解と他者理解が深まり、仲間意識がもたらされた。研修後は「就職後に一緒に働く仲間と多く共有でき、働くことの実感と、入職前に知りあえて安心感ももたらした」「自分の夢(目標)が確認でき、将来を考えたことができた」「看護職を目指している自分自身を見つめなおすことができ、頑張っている自分を認めることができたと感じるようになった」。

【研修の評価と今後の課題】
1. 研修の結果
構成的グループ・エンカウターを用いた健康教育のねらいは、「人間関係をとおして自己発見」することである。エクササイズを実施するだけでなく、重要なのは感じたことや気づいたことを仲間と共有するシェアリングであり、グループ構成とファシリテーターの積極的傾聴によって感情に向き合い自己理解・自己開示・他者理解ができ、自分の夢や看護職としてどうありたいかなど自分自身の再発見につながった。同じ目標をもった仲間と知り合い、互いの夢や思いが共有でき

たことで看護職として働く覚悟ももて、自分の夢を明確にすることで、国家試験に向かっている意味が明らかになり、看護職という仕事を目標としてエンパワメントされた。
2. 今後の方向性
看護職として働く自己理解を深め、仲間意識をもち、ストレス耐性の低い新人看護職にはモチベーションが下がる時期(5月・11月・2月)がある。臨床では成功体験がもてるようなかわりをもち、研修ではグループワークの機会も設けているが、どんなに支援システムを構築しても重要なのは、新人看護職自身が自分の感情と向き合っており、自己効力感を高めることである。今後は内定者研修を自己実現のベシックセミナーと位置づけ、入職後の院内研修プログラムとリンクさせ「初期キャリア」がうまく形成できるようにしていきたい。

◆セミナー情報◆
第14回「自己効力感(セルフエフィカシー)を高める主体的な行動変容を支援する健康教育実践セミナー」
【開催日】平成25年1月19日(土)・20日(日)
【会場】自治労第一会館(東京・千代田区、予定)
【講師】高村寿子自治医科大学名誉教授他
【問合せ】研修課 ※詳細は本会HPをご覧ください。

◆本会役員紹介◆
理事 **安達 知子**
産婦人科医として、臨床上、教育、研究の場で女性のリアルな課題を積極的に推進するとともに、常務理事を務める日本産婦人科医学会等では、人々のニーズを踏まえた社会活動・運営の引成り委員として、女性の健康を支援していききたい。

セミナー情報
『ピアカウンセラー養成者』養成セミナー
受講者募集中!
ピアカウンセラー養成者養成セミナー
【コースリーダー】高村寿子(自治医科大学名誉教授)健康教育プログラム開発研究会研究責任者
【開催日】前期7月14日(土)・16日(月・祝)、後期12月15日(土)・16日(日)
【対象者】心身ともに健康で、本セミナー受講後、関連領域でピアカウンセラーを養成することのできる者、または、今後養成を検討している者
【協賛】日本ピアカウンセラー研究会
【問合せ】研修課
03(3269)4785
03(3267)2658
※詳細は本会HPをご覧ください。

SRHセミナー100回記念大会
●受付(11:30~12:15)
講演「100回を振り返る~感謝と今後へ~」(12:30~13:15)
北村 邦夫 一般社団法人日本家族計画協会 常務理事 / 家族計画研究センター 所長
トークショー「心をみがく・体をみがく・言葉をみがく」(13:30~14:30)
北村 邦夫 一般社団法人日本家族計画協会 常務理事 / 家族計画研究センター 所長
塚越 友子 東京中央カウンセリング 代表心理カウンセラー
本田 ヒカル メイクアップアーティスト
◆100回記念レセプション(14:45~16:45)
※レセプションでは3名の他、歴代のSRHセミナー講師が集い、自由に交流できる場を提供いたします。是非ご参加ください。(立食形式・退席自由)
●本件に関するお問合せはこちら●
一般社団法人 日本家族計画協会 〒162-0843 東京都新宿区山谷町1-10 保健会館新館 電話 03-3269-4785 IP電話 050-3386-3052 FAX 03-3267-2658 ホームページ http://www.jpfa.or.jp/

女性のための栄養指導③ 若い女性の食生活改善指導プログラム

有限会社クオリティライフサービス 管理栄養士 小島 美和子

前号、前々号で、若い女性の低栄養とその背景、将来への影響、具体的な事例とアドバンス方法を解説しました。最終回は、私も行った若年女性に実施した食生活改善プログラムの内容と進め方を紹介します。

〈テーマ〉

「キレイにダイエット」といって、太るのではなく「太らない食生活」「太りたくない」ということで興味をひくよう

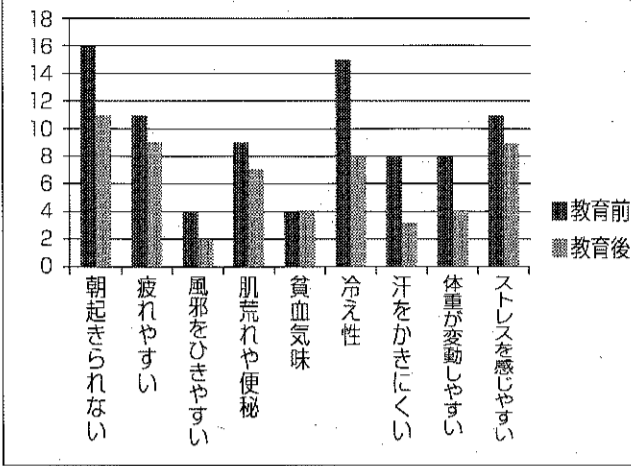


図1 体調の変化 (人数)

〈効果指標〉

対象者が肥満の場合は体重が効果指標となりませんが、この場合は食事の栄養状態の改善を目標とするため、効果指標として体調チェックを用いました。栄養不足により生じた体調項目(疲労感・集中力・便秘・肌あれ・風邪をひきやすい・ストレスを感じやすいなど)について、プログラ

〈期間〉

食生活を改善し、自身でコントロールできるようになるためには最低3か月は必要です。したがって今回は3か月間に設定しました。

〈進め方〉

講義1月のテーマを設定して月1回の講義を行い、各月の行動目標を設定しました。食事・昼休み時間を使用するための、毎回、栄養バランスがよくカロリーコントロールされているお弁当を準備しました。

〈まとめ〉

参加者からは、体調の改善を実感したという声が多く寄せられ、継続したいという意思を見ることができました。短期間でも効果が出ることで、その効果を体感させることで、行動変容につながる

「不妊症」の勉強会を開催

本会家族計画研究センター

本会家族計画研究センター(北村邦夫所長)では4月19日、本会多目的ホールで電話相談員向けの勉強会を開催。竹下俊行日本医科大学産婦人科主任教授を招き、不妊症について最新の知識を学んだ。

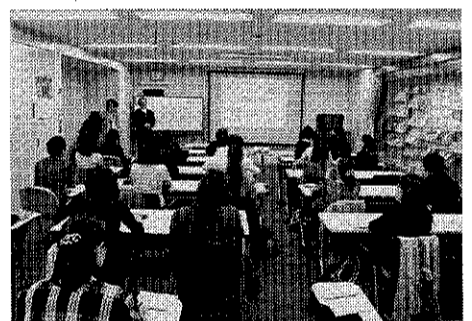
竹下教授は、厚生労働科学研究補助金「地域における周産期医療システムの充実と医療資源の

適正配置に関する研究」の研究班の一員として、本年3月に発行された「回復・習慣流産(いわゆる「不妊症」)の相談対応マニュアル」の作成にも携わっている。

▽不妊症の定義 流産は、日本産科婦人科学会の定義では「妊娠22週未満の胎児が母体から娩出されること」と定義され、流産を2回以上繰り返した場合を「習慣流産」とし、3回以上繰り返した場合を「不妊症」と定義している。

▽年間数万人が不妊症に悩んでいる。流産は、「妊娠の10〜20%の頻度で起こる妊娠最大の合併症」(同マニュアル)であるため、正確な数は不明であるものの、年間数万人が不妊症に悩んでいると推定されている。

竹下教授は「マニュアルでも遺伝カウンセリングの重要性を説いているが、カウンセリングでよく話をすることを肝に銘じておくべき」と強調。質疑応答では、胎児の染色体異常を偶然繰り返したばかりであり、「検査をして、リスク因子が見つからな



竹下教授が講演している様子。

本会家族計画研究センターの勉強会。

「不妊症」の勉強会を開催

本会家族計画研究センター

本会家族計画研究センター(北村邦夫所長)では4月19日、本会多目的ホールで電話相談員向けの勉強会を開催。竹下俊行日本医科大学産婦人科主任教授を招き、不妊症について最新の知識を学んだ。

竹下教授は、厚生労働科学研究補助金「地域における周産期医療システムの充実と医療資源の

「不妊症」の勉強会を開催

本会家族計画研究センター

本会家族計画研究センター(北村邦夫所長)では4月19日、本会多目的ホールで電話相談員向けの勉強会を開催。竹下俊行日本医科大学産婦人科主任教授を招き、不妊症について最新の知識を学んだ。

竹下教授は、厚生労働科学研究補助金「地域における周産期医療システムの充実と医療資源の

竹下教授が講演している様子。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

本会家族計画研究センターの勉強会。

2011年度事業報告

本会家族計画研究センター・クリニックの2011年度の活動を報告する。
(本会家族計画研究センター所長 北村 邦夫)

緊急避妊薬の適正使用に向けた取り組み

悲願であった緊急避妊薬「ノルレボ錠0.75mg」(成分レボノルゲストレル)が2011年2月23日に承認、5月24日に発売された。長年にわたって、緊急避妊薬の正式承認を求めてきた私どもとしては、世界の仲間入りできた安堵とともに、

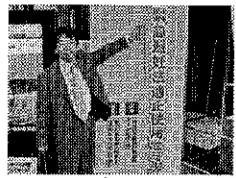
大きな責任を感じずにはおれない。

承認後3月4日付、厚生労働省医薬食品局審査管理課長から本会会長宛に「ノルレボ錠0.75mg」の適正使用への協力依頼について」の課長通知が届くなど、新薬としては異例の扱いとなっている。

これを受けて、当センターでは、日本産科婦人科学会および日本産科婦人科医学会の後援を得て、日本産科婦人科学会編「緊急避妊法の適正使用に関する指針(2011年2月)」の解説を中心に医師とコメディカルを対象とした「緊急避妊法適正使用セミナー」を全国8か

所で開催、延べ1,544人が参加した(図1)。さらに、一般女性向けパンフレットを作成し全国の学校・市町村保健センター・女性相談センターなどに配布。緊急避妊薬を処方された女性を対象には、一般女性と犯罪被害者向けポケット版リーフレットを作成して全国の医療機関に配布した(図2)。また、全国の医療機関調査を経て、Dr北村が推奨する緊急避妊薬を処方している施設の検索サイトを制作するにあたり1500余施設が登録された。

当センターには合計654件の緊急避妊相談が寄せられ、クリニックには緊急避妊法を求めて33人が訪れている。



日本産科婦人科医学会・日本産科婦人科学会後援
「緊急避妊法適正使用セミナー」
5月29日(日) パルサール汐留
参加者数：505人

1,544人

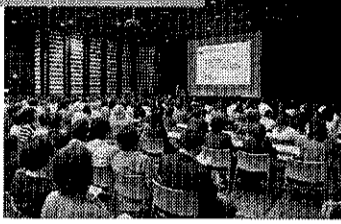


図1 緊急避妊法適正使用セミナー

- ANAクラウンプラザホテル 大塚 6月26日 280人
- ホテルニューオータニ博多 福岡 7月17日 143人
- 江原グランドホテル 仙台 7月24日 128人
- ANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋 名古屋 8月7日 168人
- ロイトン札幌 札幌 9月4日 101人
- ホテルオークラ神戸 神戸 10月16日 99人
- 新横浜プリンスホテル 横浜 10月23日 120人

SRHセミナーには1362人が参加

当センターが中心となつて開催しているセミナーのひとつがSRHセミナー。毎年全国各地で開催している「指導者のための避妊と性感染症予防セミナー」は、2011年度からは新しい「SRHセミナー」と銘打ったセミナーを立ち上げた。SRHとはセクシュアルリプロダクティブ・ヘルスの略語。折しも国際家族計画連盟の「新版IPOPセクシュアルリプロダクティブ・ヘルス用語集(日本語版監修 芦野由利子・北村邦夫、登録用語数約680語)が出版されたばかりでもあり、国際的に広く認知されているSRHを、日本でも親しめる言葉にしたいという主催者の願いがあった。テーマは「新しい話題を性

教育の中でどう教えるか」「新しい話題」とはSRHの中でも関心が高まっているHPVワクチン、緊急避妊薬、そしてわが国での普及が続いている低用量経口避妊薬、

OC関連の電話相談件数は8319件

当センターでは2005年2月からバイエル薬品(株)の支援のもと、OCサポートコールを、2010年4月にはあすか製薬(株)とともに「OCコール」を開設して現在に至っている。ちなみに、2011年3月までに受けた相談延べ件数は、前者が3万9327件、後者が15366件となっている。集計方法が異なるので、二つを単純に統合することはできない。

年齢分布を見ると、前者の場合「35歳以上」が最多で32.3%、次いで「25~29歳」25.1%、「30~34歳」19.5%の順。後者は「25~29歳」が最も多く27.8%、「35歳以上」26.7%、「30~34歳」21.7%と続く。相談内容で10%を超えているのは、前者と後者で並べると「飲み忘れた場合の対処」が20.6%、「服用方法」18.3%、「服用方法」

表1 OC関連電話相談実績(年齢と相談内容)

不明	OCコール						OCサポートコール						不明
	35歳以上	30~34歳	25~29歳	20~24歳	20歳未満	全体	全体	20歳未満	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35歳以上	
4	171	139	178	127	22	641	7,678	252	1,487	1,925	1,497	2,477	40
0.6	26.7	21.7	27.8	19.8	3.4	100.0	100.0	3.3	19.4	25.1	19.5	32.3	0.5
0	17.0	18.0	19.7	21.3	4.5	18.3	20.6	20.6	23.9	22.2	19.6	18.2	15.0
25.0	17.5	20.9	24.7	18.9	18.2	20.6	19.3	15.1	19.5	21.0	17.4	19.3	20.0
0	9.9	11.5	9.6	9.4	13.6	10.1	14.7	17.1	11.2	13.1	16.2	16.8	22.5
0	16.4	15.1	14.0	7.1	4.5	13.1	10.1	11.9	8.6	8.9	10.8	11.3	12.5
0	8.8	6.5	5.6	11.0	0	7.5	9.7	6.7	8.1	10.4	10.0	10.3	5.0
50.0	12.3	9.4	9.0	5.5	13.6	9.7	8.7	12.3	11.8	8.2	8.4	7.1	7.5
0	4.7	4.3	2.8	1.6	4.5	3.4	5.0	4.4	4.0	4.2	5.7	5.9	7.5
0	3.5	1.4	2.8	4.7	4.5	3.1	3.5	1.2	3.6	3.3	4.0	3.4	2.5
0	1.2	1.4	1.7	3.9	9.1	2.2	2.1	2.0	2.5	2.0	1.8	2.1	2.5
0	0.6	1.4	0.6	2.4	4.5	1.2	1.0	1.2	1.0	0.5	0.8	1.4	0
0	0.6	0	0.6	0.8	0	0.5	0.6	1.6	0.4	0.4	0.7	0.8	0
0	0.6	0	1.1	0	4.5	0.6	0.5	0.4	0.5	0.7	0.3	0.5	0
0	0.6	0.7	0.6	0	0	0.5	0.5	0	0.2	1.0	0.5	0.2	0
25.0	2.9	1.4	2.2	0.8	0	2.0	0.4	0.8	0.7	0.3	0.5	0.3	2.5
0	0	0	0	0	0	0	0.3	1.6	0.3	0.1	0.1	0.3	0
0	0	0	0	0	0	0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.4	0.1	0
0	0	0	0	0.8	0	0.2	0.1	0.4	0.1	0.2	0.1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0.1	0.1	0	0.1	0
0	0.6	0	0	0	0	0.2	0.1	0	0.1	0.1	0	0.2	0
0	0	0	0	0	0	0	0.1	0	0.1	0.1	0.1	0	0
0	0	0	0	0.8	0	0.2	0	0	0	0.1	0.1	0	0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.1	0.1	0	0
0	2.3	2.9	0	4.7	4.5	2.3	2.6	2.4	3.2	3.1	2.6	1.9	2.5
0	0.6	5.0	5.1	5.5	13.6	4.2							

「思春期・FPホットライン」はわが国の有数の歴史ある電話相談であるが、利用件数は2581件(男性1321件、女性1260件)と減少傾向にある(図3)。筆者が現職に就任した1988年からデータベースを整えているが、延べ相談件数は12万7451件

回答を得られるメリットはあるが、ベストアンサーの回答者のバックグラウンドが見えにくく、そのためにも必ずしも不安が解消されるわけではないことなどもあって、電話相談を求め続けるのは、来同様男性の場合「包茎」23.5%、「自慰」19.2%、「性器」11.3%、「射精」10.1%など274件、既婚252件。平均年齢は33.5歳とやや高め。35歳以上が全体の46.2%を占め、30歳以上とすると58.6%となっている。この年齢を反映してか、相談内容も「病気」22.0%、「月経」13.0%、「妊娠」10.9%、「更年期」9.0%など



一般女性に向けた啓発資料

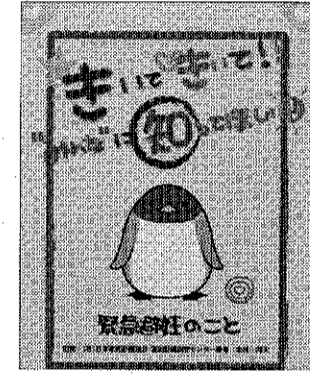


図2 啓発資料

1982年に開設した「思春期・FPホットライン」はわが国の有数の歴史ある電話相談であるが、利用件数は2581件(男性1321件、女性1260件)と減少傾向にある(図3)。筆者が現職に就任した1988年からデータベースを整えているが、延べ相談件数は12万7451件

本会家族計画研究センターにおける 学会発表・論文等業績一覧

【著書】

- ・セックス嫌いな若者たち、メディアファクトリー新書、191頁、東京、メディアファクトリー、2011
・(監修)最新 よくわかる家族計画、24頁、東京、日本家族計画協会、2011
・(監修)BBT Memory、64頁、東京、日本家族計画協会、2011
・(監修)「ピル」について知ろう!、29頁、東京、日本家族計画協会、2012(増版)

【共著】

- ・北村邦夫:20 思春期医療 若年妊娠と合併症、今日の治療指針(総編集 大関武彦・古川 漸・横田俊一郎・水口 雅)、688-689、東京、医学書院、2012

【論文】

- 1) 緊急避妊の最新情報、思春期学、30(1):29-33、2012
2) 連載 青年期におけるメンタルヘルスへの取り組み、性の問題とメンタルヘルス、保健の科学、54:119-126、2012
3) 第63回日本産科婦人科学会学術講演会生涯研修プログラム クリニカルディベート2)ヘルスケア ①低用量OCはHRTの代用となるか。1)代用可能の立場に立って、日本産科婦人科学会63(12):N-146-N151、2011
4) 視点 小児科医に知っていて欲しい「緊急避妊薬」、東京小児科医会報、30(2):57-60、2011
5) 「第5回男女の生活と意識に関する調査」結果報告、JASE 現代性教育ジャーナル、(財)日本性教育協会、No.7:1-6、2011
6) 高橋幸子・北村邦夫:ティーンズ女子のよくある悩み 月経異常・若年妊娠、JIM、21(10):804-807、2011
7) 緊急避妊法の適正使用、日産婦医会報、8-9、2011年8月1日号
8) 特集 これだけは知っておきたい 思春期のヘルスケア、産婦人科医が行う「これからの性の健康教育」、産婦人科治療、103(2):198-204、2011
9) オフィスギネコロジーにおける避妊 From Emergency Contraception to Oral Contraceptives、日本産科婦人科学会雑誌、63(5):1268-1276、2011
10) 婦人科内分泌療法一病態の理解と正しい診断に基づく対処・治療のポイント[不妊・避妊] 7.低用量経口避妊薬、臨床婦人科産科 増大号、65(4):504-509、2011
11) 婦人科内分泌療法一病態の理解と正しい診断に基づく対処・治療のポイント[不妊・避妊] 8.緊急避妊法、臨床婦人科産科 増大号、65(4):511-515、2011
12) 不妊治療のすべて「女性の性」と生殖、産婦人科治療、2011 102巻 4増刊、459-465、2011
13) 医療現場から診る思春期の性~家庭・学校・地域でできること~、平成22年度関東甲信越静学校医協議会報告書(茨城県医師会)、21-33、2010年8月19日、水戸、2011
14) 緊急避妊の基礎知識、助産雑誌、65(4):304-309、2011

【学会発表など】

- 1) 女性の健康週間in大阪、市民講座「生理と上手に付き合おう」、2012年3月3日
2) 日本中高年性教育研究会「深刻化する少子化問題を現役婦人科医が徹底追求する」、2012年2月19日(80人)
3) 沖縄産科婦人科学会・沖縄県産婦人科医学学会学術研修会「緊急避妊薬(ノルレボ錠)の適正使用について」、2012年2月17日(120人)
4) 第25回神奈川母性衛生学会総会ならびに学術集会「知らないのは愚か、知らせないのは罪~緊急避妊薬をご存じですか~」、2012年2月4日(100人)
5) 信州緊急避妊法適正使用セミナー「緊急避妊薬の理論と実際」、2012年1月28日(120人)
6) 京都産婦人科医会1月学術研修会「緊急避妊法の適正使用」、2012年1月21日(100人)
7) 第56回日本生殖医学会学術講演会「オフィスギネコロジーにおける緊急避妊薬『ノルレボ錠』の位置づけ」、2011年12月9日(100人)
8) 第26回日本女性医学学会学術集会、教育講演4「女性のライフサイクルと避妊」、2011年11月12日(200人)
9) 平成23年度健やか親子21全国大会(母子保健家族計画全国大会)家族計画研究集会「今後期待される性の健康教育とは? 確実な避妊をどう教えるか」、2011年11月11日(160人)
10) 平成23年度鹿児島県母子保健関係者研修会、特別講演「リプロダクティブ・ヘルス、最新情報~EC、OC、HPV~」、2011年11月2日(500人)
11) 第48回関東甲信地区医学検査学会、公開特別講演会「女性の一生~ちょっと気になる病気の話」、2011年10月29日(300人)
12) 杉村由香理・北村邦夫:第52回日本母性衛生学会総会・学術集会、「性教育の不備が人工妊娠中絶を繰り返させている」、2011年9月30日
13) 座長 北村邦夫・池ノ上克:第52回日本母性衛生学会総会・学術集会、市民公開講座「男女共同参画協会の在り方と問題点」2011年9月30日
14) 第30回日本思春期学会総会・学術集会、教育講演5「緊急避妊の最新情報」、2011年8月28日
15) 第24回鹿児島県母性衛生学会、特別講演「リプロダクティブ・ヘルス、最近のトピックス~OC、EC、HPV~」、2011年8月20日(160人)
16) 大分県産婦人科医会・OC情報センター/避妊教育ネットワーク、県民公開講座「児童虐待防止は、「望まない妊娠」の防止から~避妊の大切さを考えて~」、2011年7月30日(1000人)
17) 第121回関東連合産科婦人科学会総会・学術集会、シンポジウム「生殖領域におけるホルモン療法最前線、緊急避妊ピルの適正使用」、2011年6月12日(150人)
18) 第131回津北連合産科婦人科学会学術講演会、「確実な避妊法の普及を目指して~緊急避妊(EC)や中絶を繰り返さないために~」、2011年6月5日(220人)
19) 第6回『お母さんと子どもの命を守る』勉強会、「思春期の性があふない」、2011年5月19日(30人)
20) 第80回岡山市産婦人科研修会、特別講演「新しい緊急避妊薬について~その理論と実際~」、2011年4月27日(80人)

本会 家族計画研究センター・クリニック

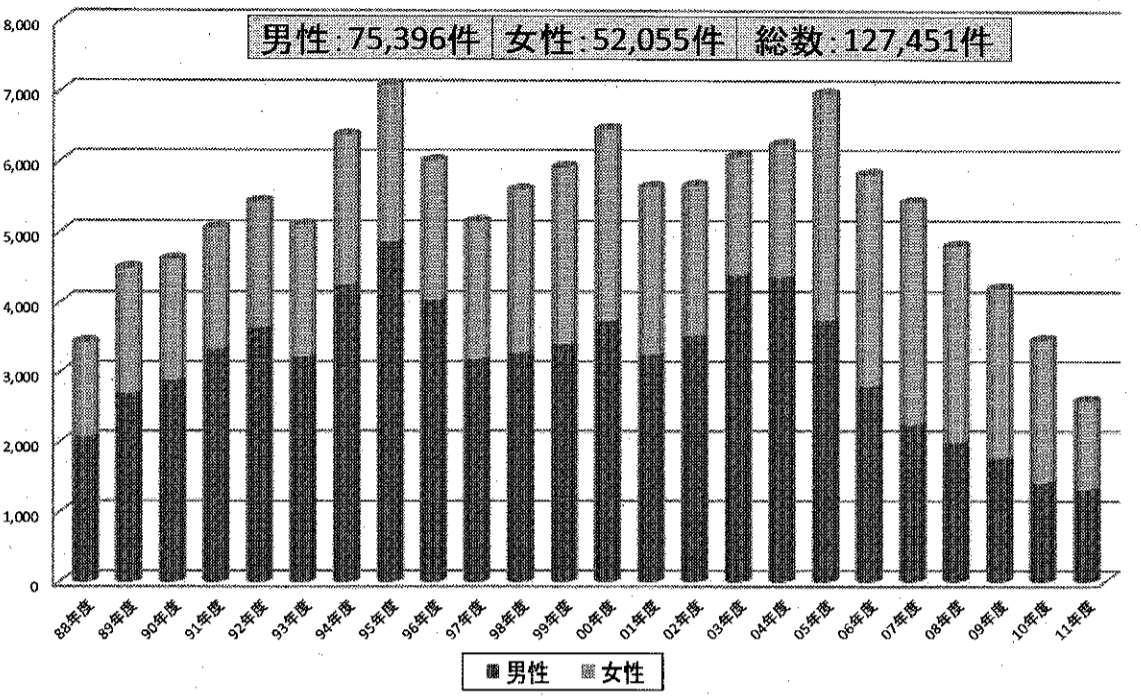


図3 思春期・FPホットライン(1988年度~2011年度)

表2 「思春期・FPホットライン」の存在をどこで知ったか

Table with columns for gender (Male/Female), source (Internet, Friends, School, etc.), and age groups (Elementary, Middle, High school, etc.).

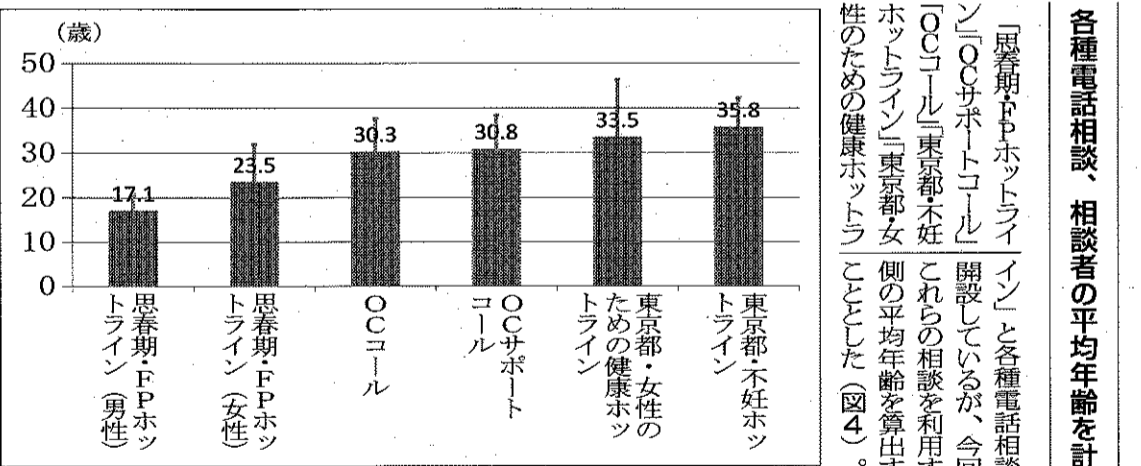


図4 各種電話相談:相談者の平均年齢と標準偏差(歳)

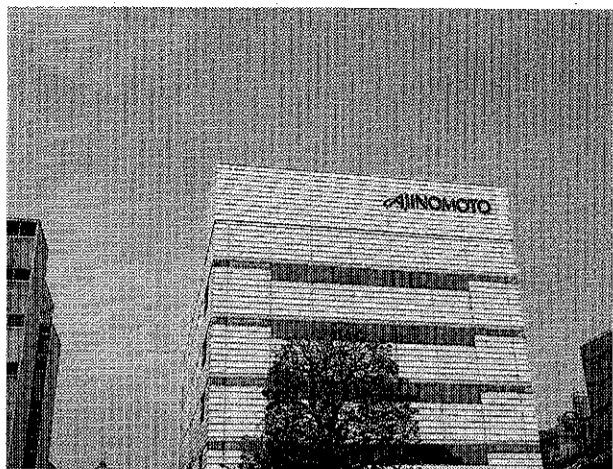
各種電話相談、相談者の平均年齢を計算... 1997年からスタートであった。相談内容(複数回答)のトップは「自分自身のこと」16.8%... 4価のHPVワクチン接種者は29人

職域保健の現場から

14

セルフ・ケアへの支援

味の素株式会社人事部川崎健康推進センター 保健師 高橋 千春



味の素(株)川崎事業所

味の素グループ理念
「私たちは、地球的な視野にたち、食と健康のために働き、明日のよりよい生活に貢献します」
という理念のもと、現在は世界100か国以上の

国で食品・アミノ酸・医薬品の事業を展開しています。
健康推進体制・健康管理ポリシー
健康推進体制として、本社人事部下に全国6つの健康推進センターを置き、国内従業員約3500人、海外駐在従業員約300人をフォローしています。各事業所の人事・総務部長がセンター長を兼務し6人、常勤産業医2人、非常勤産業医7人、産業看護職10人のスタッフで従業員の健康支援を担当しております。

味(株)の健康推進施策の特徴
健康推進センターの主な活動として、健康診断の実施とその後のフォロー、過重労働対策、要介護者・休業者面談、海外駐在従業員の健康フォロー、安全衛生委員会出席、職場巡視等を行っています。

活動の中心となっており、健康診断後のフォローでは結果の有無の有無に関わらず全従業員と産業医または保健スタッフで毎年個人面談を実施します。
面談では、健康診断結果をもとに本人が自分の健康状態をどの程度理解しているか、今後どう行動を改善するか話し合いを行います。この全員面談の際は、セルフ・ケアで、医療者の一方的な保健指導ではなく、本人が自分の意思で行動計画と目標を立て実行できるような支援を行っております。

また、この健康診断後のフォローは海外駐在従業員へも国内と遜色のないレベルの支援を行うことを目標に実施しています。海外駐在従業員も1年に1回グループ会社8社による健康管理担当者会議を開催し、グループ各社の人事・総務担当者、保健スタッフが集まり、共有したい課題や困っていること、他社の事情で聞きたいこと等をディスカッションしています。

グループ会社の産業保健スタッフは各社ほぼ1人体制での仕事環境であり、各社の実情や各スタッフの日頃の業務、課題を共有し、解決のための機会として活用していきたいと思っております。

現在、グループ会社への支援や支援先が国内だけでなく多方面の海外駐在従業員であること、フィンランドだけでなくメンタル、安全衛生法改正等への対応、支援する従業員本人だけでなく職場の上司や主治医といったコミュニケーション範囲の拡大など、保健師として求められる範囲が広がっているように感じます。このような期待値の変化へ対応できるスキルを身につけていくことが、今後の課題と思っております。

② 経済的自立の端緒をつかむ

(前号の続き)

昭和30年、生活困窮者に対する指導・相談事業が開始されたが、国も含めて、何故家族計画事業をおこなうのかという一番大事な理念(考え方)が、人口問題なのか、母体保護なのか、バラバラで確立されていなかった。家族計画は何故大切なのか(必要なのか)、すべての国民が納得できる理念の確立なくして、事業の成功はむずかしい。
日本家族計画普及会

(当時の本会)は、当時激増していた人工妊娠中絶(昭和30年が届出のピークで117万件)を減らし、望ましい妊娠は避妊法で防ぐ、母体の健康を守ろうとの目的をもって設立されたことは前にも述べたが、同時に「産む、産まないは個人の意志によるもので、第三者が口を出すべきではない。ましてや政府が上から押しつけるものではない」との考えを基本理念として家族計画運動の推進を考

えていただけに、まず家族計画の理念を確立するための行動をおこすべきだと考えた。これが前述した「家族計画研究委員会」の設置であり、この中で最も

も研究委員会で随分議論された。そして結論は個人指導の最適任者は当時全国で活躍していた開業助産師であり、集団指導は保健師だろうということになった。

で進んでやりたいという人はまずいないと考えてもよく、しかもファミリーシヤにかかわるむずかしいテーマであるということである。他人に話したくない、

昔から「産婆さん」として世襲的に定着し、信頼されてきた開業助産師は、母親達にとってお産を通して自分達の性については、何でも相談できる存在だったのである(昭和25年の統計では、全国の自宅分娩率90%以上)。昭和30年当時

は、優秀な指導技術をもった指導員を如何に全国に配置するか。昭和31年から今日までテーマ、内容こそ変わってきているが、指導者養成のための研修事業は最重要事業の一つとして今日に至っている。(続く)

家族計画運動の歩み

本会会長 近 泰男

真剣に議論されたことであった。

「理念」の次に大事なことは、お母さん達に受け入れられる最適切な指導者は誰か、というところである。これ

家族計画指導でまず考えなければならぬことは「避妊」すること。病気の治療と違って、指導を受ける人たちは、喜ん

知られたくない自分たち夫婦の「セックス」の話に入ってこれるのだから、余程人間的な信頼関係が出来ていないければ、受け入れてもらえない問題である。

同時に個人指導に持つていくまでの役割は、保健所や市町村で

業員へも国内と遜色のないレベルの支援を行うことを目標に実施しています。海外駐在従業員も1年に1回グループ会社8社による健康管理担当者会議を開催し、グループ各社の人事・総務担当者、保健スタッフが集まり、共有したい課題や困っていること、他社の事情で聞きたいこと等をディスカッションしています。

グループ会社の産業保健スタッフは各社ほぼ1人体制での仕事環境であり、各社の実情や各スタッフの日頃の業務、課題を共有し、解決のための機会として活用していきたいと思っております。

現在、グループ会社への支援や支援先が国内だけでなく多方面の海外駐在従業員であること、フィンランドだけでなくメンタル、安全衛生法改正等への対応、支援する従業員本人だけでなく職場の上司や主治医といったコミュニケーション範囲の拡大など、保健師として求められる範囲が広がっているように感じます。このような期待値の変化へ対応できるスキルを身につけていくことが、今後の課題と思っております。

「理念」の次に大事なことは、お母さん達に受け入れられる最適切な指導者は誰か、というところである。これ

家族計画指導でまず考えなければならぬことは「避妊」すること。病気の治療と違って、指導を受ける人たちは、喜ん

知られたくない自分たち夫婦の「セックス」の話に入ってこれるのだから、余程人間的な信頼関係が出来ていないければ、受け入れてもらえない問題である。

同時に個人指導に持つていくまでの役割は、保健所や市町村で

業員へも国内と遜色のないレベルの支援を行うことを目標に実施しています。海外駐在従業員も1年に1回グループ会社8社による健康管理担当者会議を開催し、グループ各社の人事・総務担当者、保健スタッフが集まり、共有したい課題や困っていること、他社の事情で聞きたいこと等をディスカッションしています。

グループ会社の産業保健スタッフは各社ほぼ1人体制での仕事環境であり、各社の実情や各スタッフの日頃の業務、課題を共有し、解決のための機会として活用していきたいと思っております。

現在、グループ会社への支援や支援先が国内だけでなく多方面の海外駐在従業員であること、フィンランドだけでなくメンタル、安全衛生法改正等への対応、支援する従業員本人だけでなく職場の上司や主治医といったコミュニケーション範囲の拡大など、保健師として求められる範囲が広がっているように感じます。このような期待値の変化へ対応できるスキルを身につけていくことが、今後の課題と思っております。

現在、グループ会社への支援や支援先が国内だけでなく多方面の海外駐在従業員であること、フィンランドだけでなくメンタル、安全衛生法改正等への対応、支援する従業員本人だけでなく職場の上司や主治医といったコミュニケーション範囲の拡大など、保健師として求められる範囲が広がっているように感じます。このような期待値の変化へ対応できるスキルを身につけていくことが、今後の課題と思っております。

◆投稿募集◆ 本紙に日頃の活動や研究報告などを投稿してみませんか? 詳しくは編集部まで。
henshu@jipa.or.jp

処方せん医薬品
注意一医師の処方せんにより使用すること
トリキュラー錠21・28
Triquilar
レボノルゲストレル・エチニルエストラジオール錠

処方せん医薬品
子宮内避妊システム
薬価基準未収載
ミレーナ®
52mg
Mirena
レボノルゲストレル放出子宮内避妊システム
注) 注意一医師の処方せんにより使用すること

海外情報クリップ

子宮内膜症と卵巣がんリスクについて

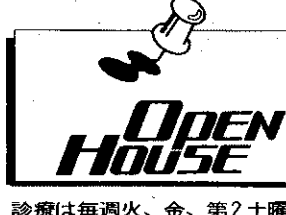
南カリフォルニア大学ロサンゼルス校予防医学



「東京都・不妊ホットライン」には本人以外からの電話もかかってきま...
「東京都市・不妊ホットライン」には本人以外からの電話もかかってきま...
「東京都市・不妊ホットライン」には本人以外からの電話もかかってきま...

「娘の彼氏がEDで」から始まる母親からの相談がありました。20代でそんなことがあるのかと驚き、どこに相談してよ...
「娘の彼氏がEDで」から始まる母親からの相談がありました。20代でそんなことがあるのかと驚き、どこに相談してよ...

「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...
「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...



「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...
「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...

「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」

「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」

「電話相談員募集」
「電話相談員募集」
「電話相談員募集」

子宮内膜症は生殖年齢の女性の約10%にみられる疾患です。手術療法と薬物療法があり、薬物療法では経口避妊薬(ピル)がよく使われていま...
子宮内膜症は生殖年齢の女性の約10%にみられる疾患です。手術療法と薬物療法があり、薬物療法では経口避妊薬(ピル)がよく使われていま...

細胞卵巣がんのリスクは約3倍、類内膜がんや軽度漿液性卵巣がんでは約2倍高くなりました。一方、重度漿液性卵巣がんは、境界域卵巣がんでは関連性は認められません...
細胞卵巣がんのリスクは約3倍、類内膜がんや軽度漿液性卵巣がんでは約2倍高くなりました。一方、重度漿液性卵巣がんは、境界域卵巣がんでは関連性は認められません...

現在、ある種のがん抑制遺伝子の変異が卵巣がんや類内膜がんの発症に関与していることが明らかになりました。これは、卵巣がんや類内膜がんの発症に関与していることが明らかになりました...
現在、ある種のがん抑制遺伝子の変異が卵巣がんや類内膜がんの発症に関与していることが明らかになりました。これは、卵巣がんや類内膜がんの発症に関与していることが明らかになりました...

避妊カウンセリングに関するIMAP提言
避妊カウンセリングに関するIMAP提言
避妊カウンセリングに関するIMAP提言

パートナーのプライバシーを守り、個人ごとの時間をかけて行う必要がある...
パートナーのプライバシーを守り、個人ごとの時間をかけて行う必要がある...
パートナーのプライバシーを守り、個人ごとの時間をかけて行う必要がある...

▽中絶後は1か月で妊娠リスクが戻るため、ピルやIUDは必要と考えられます...
▽中絶後は1か月で妊娠リスクが戻るため、ピルやIUDは必要と考えられます...
▽中絶後は1か月で妊娠リスクが戻るため、ピルやIUDは必要と考えられます...

▽出産後の女性の避妊は、母乳哺育では通常6か月間は月経が来ない...
▽出産後の女性の避妊は、母乳哺育では通常6か月間は月経が来ない...
▽出産後の女性の避妊は、母乳哺育では通常6か月間は月経が来ない...

「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...
「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...

「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...
「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...

「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」

「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」

「電話相談員募集」
「電話相談員募集」
「電話相談員募集」

「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...
「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...

「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...
「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...

「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」

「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」

「電話相談員募集」
「電話相談員募集」
「電話相談員募集」

「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...
「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...

「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...
「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...

「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」

「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」

「電話相談員募集」
「電話相談員募集」
「電話相談員募集」

「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...
「その後もお付き合いは続いているので、娘に新しい人を探すように何度も話をして、娘は「もしこのまま子どもがでなくともいいし、そんなことで彼の価値が変わるわけじゃない」と言っている...

「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...
「性機能」が彼自身の価値に関係ない...

「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...
「娘さんもおかしいけど、お母ちゃんもかっこいいぞー」。娘や息子の人生に覆いかぶさって...

「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」
「東京都・女性のための健康ホットライン」

「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」
「東京都・不妊ホットライン」

「電話相談員募集」
「電話相談員募集」
「電話相談員募集」

一人で悩んでいませんか。

更年期以降には、女性ホルモン(エストロゲン)の分泌量低下に伴い、アクリートゾーン(陰周辺部)の乾燥による違和感・不快感に悩んでいる女性は少なくありません。そのような方々のために開発されたこの専用保湿ゼリーは、日常的ケアで爽やかライフをお届けします。

陰周辺の乾燥による“つらい不快感”のケアに!

JFOA メノケア® モイストゼリー 《保湿液》

●のびがよく、塗りやすいゼリータイプです。
●高い保湿力を備え、潤いが持続します。

無着色・無香料
殺菌処理済
パラベン無添加
50g入 1,575円(本体価格1,500円)

発売元
JFOA 一般社団法人 日本家族計画協会
TEL 03-3269-4727

製造販売元
POLA 株式会社 ポーラファルマ
TEL 0120-12-2721(通話料無料)

避妊教育ネットワーク

リレートーク ⑳



齋藤氏

アルファクリニック (愛知県春日井市) 齋藤 洋子

「運命の人」たちとの出会い

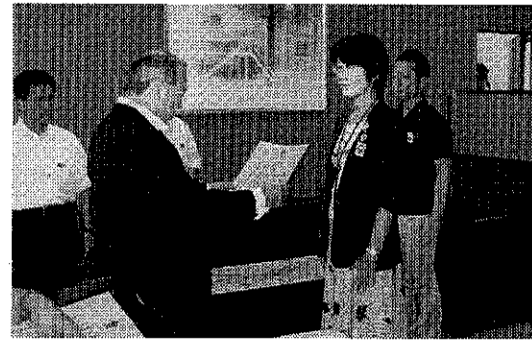
「運命の人」たちとの出会い。それは、北村邦夫先生を始めとする避妊教育ネットワークのメンバーの方々と、事例検討会での熱い議論が、2008年から、日本女医会の子育て支援委員会の「ゆいネット」委員会で、「十代の性の健康」支援ネットワーク作り事業が始まりました。

この事業の2年目から、丹羽映江先生が加わり、3年目には、私も参加させていただき、実に多くの人が、「十代の性の健康」に関わっていることを知って、大変有意義な経験になりました。

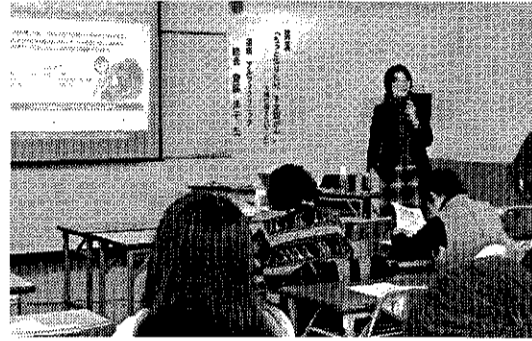
この事業は、昨年で終了しましたが、せっかく作ったネットワークを大事にしたいという思いが膨らみ、三重の川村真奈美先生、名古屋の丹羽映江先生と協力して、自分たちで活動の輪を広げ、精神科の医師、高校の保健体育の教師とコラボして愛知・思春期研究会を立ち上げました。

性教育を行って欲しいという希望はこの学校にもあるのですが、なかなか自分たちの要望にあつた話をしてくれる人がいない、なんとかして欲しい、という要望も多く、彼らの期待にぜひ応えたいと思っています。

また、今年度より、地元産婦人科医会の会長を拝命し、医師会や行政とも、つながりが深くなりました。今後はもっと積極的に活動していきたいと考えております。



愛知県警から表彰



市民健康づくり講座講演

【略歴】1956年名古屋生まれ。1983年山形大学医学部卒業。社会保険中央病院、名古屋大学医学部附属病院、国保南多摩病院勤務の後、1991年10月、愛知県春日井市において、アルファクリニックを開業。2011年度より、春日井市産婦人科医会会長。愛知・思春期研究会会長。

保健指導に関する最新情報に、対象者の検査値から確実に効果の出る問題点を導くポイントを伝授してもらいます。また「健康情報リテラシー」として、中山健夫先生(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報分野教授)に正しく健康情報を読み解くコツを、対象者が自発的に考え、行動するコミュニケーション術を村田陽子先生(倫理・インクサポート・マナ代表取締役、保健師)からお伝えいただきます。

開催日 9月9日(日) 会場 大阪YMCA国際文化センター
定員 200人(定員を超えた場合、抽選)
参加費 5000円
特別協賛 花王(株)、ヘルスケア・コミッティー(株)
詳細・お申し込みは本会HPをご覧ください。
問合せ 03(326)4785 (堀)

「運命の人」たちとの出会い。それは、北村邦夫先生を始めとする避妊教育ネットワークのメンバーの方々と、事例検討会での熱い議論が、2008年から、日本女医会の子育て支援委員会の「ゆいネット」委員会で、「十代の性の健康」支援ネットワーク作り事業が始まりました。

この事業の2年目から、丹羽映江先生が加わり、3年目には、私も参加させていただき、実に多くの人が、「十代の性の健康」に関わっていることを知って、大変有意義な経験になりました。

この事業は、昨年で終了しましたが、せっかく作ったネットワークを大事にしたいという思いが膨らみ、三重の川村真奈美先生、名古屋の丹羽映江先生と協力して、自分たちで活動の輪を広げ、精神科の医師、高校の保健体育の教師とコラボして愛知・思春期研究会を立ち上げました。

性教育を行って欲しいという希望はこの学校にもあるのですが、なかなか自分たちの要望にあつた話をしてくれる人がいない、なんとかして欲しい、という要望も多く、彼らの期待にぜひ応えたいと思っています。

また、今年度より、地元産婦人科医会の会長を拝命し、医師会や行政とも、つながりが深くなりました。今後はもっと積極的に活動していきたいと考えております。

7月の母子保健指導員研修会

◆テーマ・講師
「粉ミルクの現状と最新情報、治療用粉ミルクなど」株式会社明治 栄養食品部
◇日時 7月10日(火)13時30分～15時30分

◆会場 保健会館新館B1F多目的ホール(東京都新宿区市谷田町1-10、JR・地下鉄市ヶ谷駅下車)

◆資格 母子保健に携わる保健師、助産師、看護師等の有資格者

◆参加費 当日会員は3千円(事前に予約したさい)

◆注意 6月12日開催分は8月14日に日程が変更になりました。

◇問合せ 03(326)4727 (齋藤)

第12回アジア・オセアニア性科学学会のご案内

【主催】第12回アジア・オセアニア性科学学会組織委員会(学会長・組織委員長 大川玲子)

【後援】内閣府、厚生労働省、文部科学省、本会他

【開催日】8月2日(休)

【会場】くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)(島根県松江市)

【学会公用語】英語

【主な内容】アジアの性話と性、災害とジェンダー

第42回 全国教育研究大会

第8回 中国・四国地区性教育研究大会

【主催】全国教育研究連絡協議会、中国・性教育協会、後援 本会

【開催日】8月2日(休)

【会場】くにびきメッセ(島根県松江市) 問合せ 03(326)4785 (堀)

ジャフパ情報

今回で14回目の開催となる本セミナー(9月・大阪開催)では、古井祐司先生(東京大学医学部附属病院、ヘルスケア・コミッティー(株)代表取締役)に保健指導の「最新動向」をお話しいただき、栄養のテーマでは小島美和子先生(旬クオリティライフサービス代表取締役、管理栄養士、健康)

保健指導力 プラスワンセミナー

ご参加ください

保健指導に関する最新情報に、対象者の検査値から確実に効果の出る問題点を導くポイントを伝授してもらいます。また「健康情報リテラシー」として、中山健夫先生(京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻健康情報分野教授)に正しく健康情報を読み解くコツを、対象者が自発的に考え、行動するコミュニケーション術を村田陽子先生(倫理・インクサポート・マナ代表取締役、保健師)からお伝えいただきます。

開催日 9月9日(日) 会場 大阪YMCA国際文化センター
定員 200人(定員を超えた場合、抽選)
参加費 5000円
特別協賛 花王(株)、ヘルスケア・コミッティー(株)
詳細・お申し込みは本会HPをご覧ください。
問合せ 03(326)4785 (堀)

OC 女性のカラダとココロ、ライフデザインをサポート

OC情報センターは、OC(低用量ピル)を日本で販売する製薬会社5社によって運営されているOCに関する広報機関です。OCに関する正しい知識の普及を目指すことを目的とし、医療従事者及びマスメディア向けの資料・資料の制作、提供などを行っています。

◆参加製薬会社(五十音順)◆
あすか製薬株式会社 MSD株式会社 科研製薬株式会社 ハイコロ薬品株式会社 府田製薬株式会社

【http://www.pill-ocic.net】

OC情報センター(事務局) | 〒104-0031 東京都中央区京橋2丁目18番2号 明海京橋ビル2階